

会 議 概 要 書

審議会等の名称	令和4年度 第2回磐田市文化振興委員会
担当部課名	自治市民部 文化振興課
会議の開催日時	令和4年11月16日(水) 午前10時から午前11時15分まで
開催場所	磐田市民文化会館「かたりあ」 創造活動室1
出席者(職・氏名)	○学識経験者 4名 ○市民の代表者 1名 ○市議会議員 1名 以上6名
議 題	文化芸術振興計画の中間見直しのためのアンケート案について
配付資料等の件名	・ 会議次第 ・ 第2次 磐田市文化芸術振興計画の中間見直しについて ・ 市民アンケート案、団体アンケート案
概 要	<p>【会議内容】</p> <p>第2次 磐田市文化芸術振興計画の中間見直しについて (主な質疑応答)</p> <p>① 第2次 磐田市文化芸術振興計画の中間見直しについて</p> <p>委 員：アンケートの対象者について、13歳から19歳までが100人になっていますが、これについてはどういう考えか。</p> <p>事務局：13歳から19歳までの層に人数が少ないという点と、他の年代は20歳から29歳と10歳分ありますが、回答者を中学1年生以上としたいため、10歳代は13歳からの7歳分としており各世代より少なくなっている。</p> <p>委 員：問18で、プロの芸術家、若手芸術家というところが重なるところがある。回答する人がプロなのか、若手なのか判断することか。プロとは何ですかという話になる。プロの芸術家・文化芸術団体への支援と聞いて皆様何を想像するのか。市内にプロの芸術家や文化団体がどのくらいいるのか、県外や市外の団体への支援を磐田市民文化会館が支援するのか、というイメージが膨らむ。若手芸術家といっても、アマチュアもいるしプロもいる。その記述はこのままでよいのか。</p> <p>1番迷うのは、若手芸術家への支援。若手だが、活躍していて、自立もしている、知名度もあって稼いでいる人と、活動はしているが表現の場がないという人のことなのか。</p> <p>委 員：大きく言うと、市外で勉強していて、市内に来て宣伝効力もないとかそういうときの支援や公演をしていることが含まれている。売り出す情報がない。売り出している人には、宣伝力もあるので、支援は必要ない。宣伝力がなくてチケットが売れない場合がある。お客さんの動員の力への支援もなる。</p> <p>事務局：受け取った人にとって、対価としてもらっている若手芸術家として捉えているのか。若手芸術家というと、駆け出しや今後活動していく人の感覚でいる。駆け出しの若手芸術家と捉えられないのであれば、変えていかないといけない。</p> <p>委 員：年代にもよるかなという感じがする。芸術家を本格的に志す</p>

	<p>人への支援に、若手以外の人が入ってしまうかもしれないが、生業としている人への支援となると思う。</p> <p>委員：ある本では、芸術家と芸術活動家と表現していた。若手の芸術活動を頑張っている人は芸術活動家と記載があった。芸術家と芸術活動家と書き方のニュアンスを変えるのも良いと思う。子どもの文化芸術活動という言葉もある。</p> <p>事務局：学校教育というより、地域活動。文化活動を盛り上げていく指導者というイメージでいる。学校は学校で活動している。サークル的に楽しんでいる。それなりに芸術活動として盛り上げていきたい。きっかけとなる人がいないと文化活動や地域活動が成り立たなくなっている。</p> <p>委員：専門的な知識を持っている人が少ないということなのか、持っているが、活動できる場がないため、活動を推進していく人が必要なのか。その辺を分けて考えた方がいいかもしれない。活動したけど、専門的知識がない人の集まりもあるかもしれない。</p> <p>事務局：イメージとしては、文化芸術を核にした地域づくりとあるので、学校の先生も含む、地域の先生方も含む、あちらこちらで文化活動が行われればと指導者を位置づけている。掘り下げ行くと、専門的人材の育成が抜けてしまっているので、加えて入れることも考えたい。指導者というのは、スポーツで言うとスポーツ少年団のように指導者というより経験者。そのような人も入れていきたい。そのような方も指導者として依頼しているので、分けて専門的人材の育成・支援という欄を加えるということでしょうか。</p> <p>若手芸術家という文言の部分も確認ですが、芸術家を志す人は、若手でもお年を召していても芸術家を志す人。そこは割り切って、文化活動を増やしていくということで若手芸術家(芸術家を志す人)の支援と専門的人材の支援を分けて記載をしたいと思います。</p> <p>委員：磐田の特色ある文化芸術と磐田市が携わっている特色のある文化芸術では意味が違う。先ほど言っていた、こどもミュージカル、ダンスエボリューションは、磐田でなくてもやっている。問13との整合性をとるためにも、磐田市が携わっている特色ある文化芸術の振興にした方がよい。</p> <p>問12で、最近、文化協会を訪れているところは、かたりあ と中央図書館の展示室。また、豊田福祉センターのギャラリー長藤は入場者が4,000人。そういう施設も入ると良いと思う。</p> <p>事務局：今回のご意見をもとに表記を整理、修正し、連絡する。</p>
備 考	